

京都学生消防サポーターライセンス制度について

活動場所：京都市内

活動時期：平成 19 年 4 月～

● 発表団体

京都学生消防サポーター



● 連携メンバー

消防団

活動内容

● 京都学生消防サポーターとは

18歳以上の大学、短期大学等に通学している学生を対象に、各種研修等を通じて身に着けた防火防災の知識・技能を、地域の災害対応力の強化や防火防災の普及啓発につなげることを目的に活動している。

● ライセンス研修

普通救命講習（3時間）及び防火防災研修（6時間）を受講し、研修後に実施する効果測定で一定の知識・技能を有すると認めた方を「京都学生消防サポーター」として認証し、「京都学生消防サポーターライセンス証」を発行し自信を持って防災活動を行えるきっかけとする。



取組の成果・活動で工夫した点

- (1)大規模災害発生時に備えて、学生の皆さんに防火・防災に関する知識や技能を身に付けていただき、地域の災害対応力の強化につなげることを目的として、平成 19 年度に発足した制度である。
- (2)平成 27 年度までに総勢 827 名（卒業者を含む。）の学生が防火・防災に関する知識や技能を身に付け、防火・防災の普及啓発の活動を行った。
- (3)平成 28 年度からは、学生の防災力の更なる強化を図るため、受講者数を拡大（100 名→200 名）するとともに、受講者には効果測定を実施し、一定の知識・技能を有すると認めた者にライセンスを与える制度とし、新たに 222 名（27 年度までの登録者で取得を希望したものを含む）がライセンスを取得した。
- (4)京都学生消防サポーターには、市内の消防団に加入し、実際に防災活動を実践するように働きかけている。

今後の課題・目標

◆今後の課題

大規模災害に備えて地域の防災能力を強化し、災害発生時の被害軽減を図るためには、人口の 1 割を占める学生の力が不可欠である。この点を踏まえ、より多くの学生に対し、京都学生消防サポーター制度の周知が必要である。

◆目標

京都学生消防サポーターとして身に着けた知識や技能を、地域防災力の向上のために役立てるとともに、自主防災会本部役員や消防団等の地域組織への加入により、更なる地域防災力の向上を図る。



関連 WEB サイト：

京都市消防局ホームページ 京都学生消防サポーター

<http://www.city.kyoto.lg.jp/shobo/category/156-22-0-0-0-0-0-0-0.html>